

# ちほめんNEWS

～県内就職率向上のための企画を実施～

## ●はじめに●

近年、兵庫県では、若者の県外への転出超、とりわけ県内就職率が低下していることが課題となっています。

そこで、神戸財務事務所では、兵庫県立大学と連携し、県内就職率向上のための企画、「双方向の県内就職支援活動にTRY!」を昨年度に続き、今年度も令和2年1月20日、2月3日に開催いたしました。



当日は、県内企業・県内金融機関の業務説明及び学生とのディスカッションを行い、参加した学生51名（1月20日）、105名（2月3日）は、県内企業の生の声に真剣に耳を傾け、ディスカッションでも業務内容や就職活動についての様々な質問が飛び出すなど、講義は大盛況のうちに終了しました。

〈1月20日 参加企業〉 バンドー化学株式会社、株式会社みなと銀行  
〈2月3日 参加企業〉 神姫バス株式会社、株式会社但馬銀行

## ●企画の内容●

本企画は、神戸財務事務所の兵庫県立大学における財政講演や業務説明会に協力いただいている濱田准教授から、「神戸ちほめん」に対して、県内就職率の低下が課題だ、という話があったことをきっかけに、スタートしたものです。

初回である昨年度に好評を得られたため、今年度も継続して実施することとなりました。

今年度も企業や学生にとってより良い企画にするべく、企画内容を兵庫県立大学とちほめんで検討する中、大学からの提案により、今回は前回より講義数を拡大（1⇒2）することになりました。



また、今回は各講義の受講者数が、一方は大人数、一方は少人数と異なることから、ディスカッションの形式を受講者数に応じてちほめんで検討し、アレンジを加えることに。

具体的には、1月20日の講義「キャリアデザイン入門」（少人数）は、学生を4グループに分けた上で、各グループと企業担当者が意見交換を行う形式、2月3日の講義「地域キャリア論Ⅰ」（大人数）は、グループ分けをせず、全体でパネルディスカッションを行う形式です。

また、両講義とも、冒頭でちほめんが登壇し、ちほめん活動の紹介や県内経済について説明しました。

## 企画のポイント

- ❗ 兵庫県立大学と連携し、兵庫県の課題である「就職による学生の県外流出」への対策を検討する継続企画。
- ❗ 講義数の拡大、受講者数に応じた企画内容のアレンジなど、前回に比べてより発展的なスタイルで実施。



## ●キャリアデザイン入門（R2.1.20）●

冒頭、ちほめんの内田調査官が登壇。財務局・財務事務所における地方創生の取り組みやちほめんの役割について説明した後、学生に対して「今日は県内企業の生の話を聞く貴重な機会。今日の講義を、兵庫県で働くというキャリアを考えるきっかけとしてほしい」とエールを送りました。



次に、バンドー化学株式会社、株式会社みなと銀行が登壇。両社とも、会社概要や業務内容、兵庫県で働くことの魅力等について、写真や動画を織り交ぜたわかりやすい資料を用いて、熱く説明していただきました。



株式会社みなと銀行は、法人営業担当としての経験等を交えて銀行業務について紹介し、融資を通じた地域への貢献、地域の取引先企業からの感謝の声が仕事のやりがいである等、地方銀行ならではの魅力について説明しました。

バンドー化学株式会社は、自社ベルトが自動車や自動ドア等の幅広い製品に使用されていることを説明。地域企業が全国で高いシェアを占める製品を製造しているという話に、学生も熱心に聞き入っていました。

そして、業務説明の後、学生と企業との意見交換が始まりました。本講義では、学生と企業担当者とがより深くディスカッションできるよう、学生を10名程度の4つのグループに分け、グループ毎に企業担当者と意見交換を行いました。



意見交換では、学生から、「BtoB企業の強みは何か」、「メガバンクと比較した強みや弱みはあるか」といった企業の特徴に関する、「面接ではどのような点を見られるのか」、「20年先も同じ仕事をしていると思うか」といった就職活動やキャリアプランに関するなど、様々な質問が出されました。それに対して企業担当者は、自社の特徴や自分の経験等を踏まえながら質問に答え、良い雰囲気の中で意見交換が行われました。

### ★講義の流れ★

- ①財務事務所による説明（ちほめんの役割について）
- ②県内企業による業務紹介
- ③学生と県内企業との意見交換（少人数グループ）



## ●地域キャリア論Ⅰ（R2.2.3）●

冒頭、ちほめんの中野事務官が登壇し、県内企業の特徴や足元の県内経済情勢について説明しました。中野事務官は、「これからの就職活動に当たって、東京や大阪に本社のある企業をたくさん目にすると思うが、兵庫県内にも魅力的な企業がたくさんあるので、今日の機会を今後の参考にして欲しい」と学生に伝えました。



続いて、神姫バス株式会社、株式会社但馬銀行が登壇。

株式会社但馬銀行は、人事担当者の業務説明の後、兵庫県立大学卒業生の営業店担当者2名が、地方銀行の中でも特に但馬銀行を志望した理由や仕事のやりがい、福利厚生・ワークライフバランスの実態等について丁寧に説明しました。

神姫バス株式会社は、バス事業だけにとどまらない自社の広範な業務内容の説明のほか、イチロー選手を話題に出し、自身のキャリアプランとして具体的なビジョンを持つことがいかに大切か、等について様々な具体例を用いてわかりやすく説明。

普段聞くことのできない企業の生の声に、多くの学生が真剣に耳を傾けていました。



そして、学生と企業との意見交換の開始です。本講義では、グループ分けは行わず、パネルディスカッション形式で学生と企業担当者が意見交換を行いました。



パネルディスカッションでは、「仕事に対する不満、大変なことは何か」、「今後、AI化により仕事が奪われるのではないか」といった学生からの質問に対して、企業担当者は、「社内でスムーズに横の連携を図ることが大変」、「AIに仕事を奪われると考えるのではなく、AIで効率化した時間を使って何ができるかを考えるべき」など、具体例を交えながら丁寧に説明しました。

当初、大人数での意見交換が円滑に進行するか不安がありましたが、学生から事前に質問を聴取していたことに加え、鴨谷講師にファシリテーターとして学生と企業担当者との橋渡し役を担って頂き、時には笑いも起こるなど、終始和やかな雰囲気で行われました。

### ★講義の流れ★

- ①財務事務所による説明（県内経済について）
- ②県内企業による業務紹介
- ③学生と県内企業との意見交換（パネルディスカッション）



## ●参加者の声●

### 〈学生〉

- 今まで、これほど**少人数かつアットホームな雰囲気**で企業の話の聞いたり質問したりすることがなかったので、大変貴重な機会だった。
- 自分が知らなくても、**地域や社会に貢献している会社がたくさんある**、ということを知れて良かった。
- 通常の説明会やインターンシップなどでは味わうことができない**近い距離で企業と話をすることができた**ため、視野が広がり、良い機会になった。
- 自分があまり知らない企業について話を聞くことができて良かった。就職先として、**中小企業についても知りたいと思うきっかけ**になった。



### 〈参加企業〉

- 大学生に**会社を知ってもらう良い機会**となった。**兵庫県の県内就職率アップを目指して**、引き続きよろしくお願いいたします。
- 学生は、キャリアに関する説明を真剣に聞いていたように思う。講義後に個別に質問に来る学生もあり、**学生の意識の高さを感じた**。



## ●さいごに●

それぞれの講義終了後、キャリアデザイン入門担当の戒講師、地域キャリア論Ⅰ担当の鴨谷講師から、「今後も継続して連携させてほしい」との有難いお言葉を頂きました。

また、学生からは、「どの企業担当者も自社で地域貢献ができる喜びを語っており、**地元就職もいいなと感じた**」、「自分と年齢の近い人たちが社会人として働く姿が立派だと思うとともに、**地元で働くことの魅力を感じることができた**」といった声が聞かれ、今回の取組みが少しでも兵庫県の県内就職率向上に結び付けば、神戸ちほめん一同、大変嬉しく思います。

【バンドー化学株式会社】



【株式会社みなと銀行】



【神姫バス株式会社】



【株式会社但馬銀行】



今回の取組みでお世話になった皆様、誠にありがとうございました。

今後とも、神戸ちほめんは、地域活性化のために活動していきたいと考えています。



## ～兵庫県立大学国際商経学部と連携協定を締結しました～

### ●概要●

兵庫県立大学国際商経学部と神戸財務事務所は、平成24年の財政講演を皮切りに、8年にわたり連携し、直近では財政講演・業務説明会（令和元年12月）、県内就職率向上に向けた企画（令和2年1・2月）等を実施したところですが、令和2年3月16日、兵庫県における地域経済・社会に貢献することを目的に、幅広い分野で協働の取組みを実施するため、連携協定を締結しました。

神戸財務事務所が大学法人と連携協定を締結するのは初めてです。

### ●協定の内容●

- (1) 地域経済の活性化に関する事項
- (2) 地域社会の発展に寄与できる人材の育成に関する事項
- (3) その他協議により必要と認められる事項



兵庫県立大学国際商経学部と神戸財務事務所は、今後とも、地方創生に関する積極的な関与・協力を通じて、地域の発展に貢献してまいります。

地域活性化に関する御要望がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

近畿財務局神戸財務事務所総務課企画係

078-391-6941

[chihomen-koube@kk.lfb-mof.go.jp](mailto:chihomen-koube@kk.lfb-mof.go.jp)

近畿財務局総務課企画係

06-6949-6390

ちほめんNEWSのバックナンバーは以下のURLからご覧になれます。

<https://lfb.mof.go.jp/kinki/chiiki.html>